

・北条念仏踊（干ばつの時のみなど不定期）

■高家神社 塩釜神社



讃岐国司の菅原道真が城山で雨乞いをしたところ、三日三晩雨が降り続き、農民達が喜びのあまり踊ったのが起源と伝えられている雨乞い踊りです。

干ばつの多い夏に行われ、松山、加茂、林田、西庄、金山などでは、旧暦の7月16日頃から地元の氏神様の境内で踊りはじめ、西庄(にししょう)の白峰(しろみね)宮で笠揃いをし、滝宮天満宮の祭日である旧暦の7月25日に滝宮へくりだして踊りました。

(県指定無形民俗文化財)